

2014 年度第Ⅱ期収蔵品展 開館10周年

宮本三郎の仕事

1940's — 1950's

2014年8月9日(土) ↓ 12月7日(日)

開館時間 10時〜18時（最終入館は17時30分まで） 休館日 毎週月曜日（ただし、祝・休日と重なった場合は開館し、翌日休館） 観覧料 一般200円（160円）、大高生150円（120円）、65歳以上／中小生100円（80円）
※障害者の方は100円（80円）。ただし障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者（当該障害者1名につき、1名に限る）は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。
※（内）は20名以上の団体料金。※小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料。

上／《飢渴》1943年 カンヴァス、油彩
下／《編み物》1945-48年頃 カンヴァス、油彩

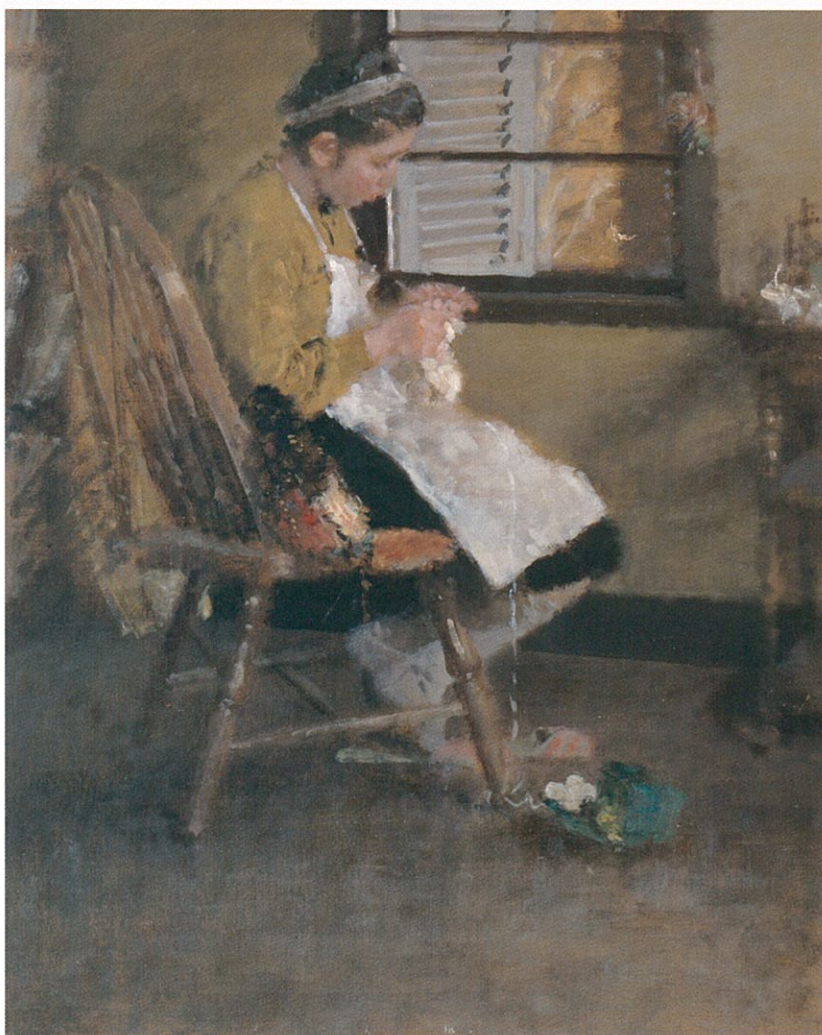
世田谷美術館分館
宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-38-13
TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

交通案内

- 東急大井町線・東横線「自由が丘」駅より徒歩7分
- 東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分
- 東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分

従軍体験と戦後の再出発





《小供角力》1945年 紙本着色

◎夏のオープンワークショップ

「君のレコード 聴いた音を絵にしよう!」

会場でかけている音楽から好きな音楽を選び、それからイメージをふくらませて12インチ(約30センチ)のレコードジャケットに絵を描くワークショップです。

講師: サイトウケイスケ

(絵描き、1982年山形生まれ)

日時: 8月20日(水)~24日(日)

毎日13時~17時(受付は16時30分まで)

場所: 宮本三郎記念美術館・1階講座室

参加料: 1回100円。上記時間中、いつでも参加可能。材料や道具は美術館で用意しています。

宮本三郎の仕事



《死の家族》1950年 カンヴァス、油彩

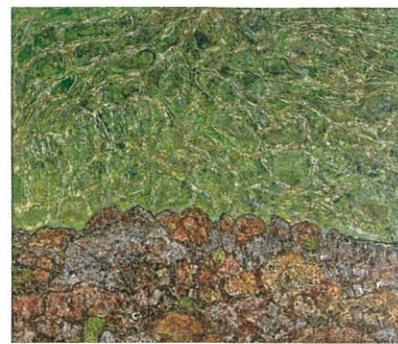
1940's—1950's

洋画家・宮本三郎(1905-1974)の画業を俯瞰すると、1940年代から1950年代は、作品がとりわけ変化した時期にあたります。宮本は、戦争の勃発によって初の洋行から1年も満たずに帰国し、戦中は軍部からの命を受け南方各地に従軍、国威発揚を目的とする戦争記録画の制作に従事しました。当時の宮本にとってそれは「生き甲斐のある」仕事であり、日本ではまだ歴史の浅い洋画を国家に役立たせるまたとない機会であったと言えるでしょう。報道写真を下敷きにしながら、高い評価を得ていた素描力と、従軍先での丹念な取材に基づいて制作された宮本の戦争記録画は評判を呼び、その名を一段と知らしめました。本展では、《飢渴》(1943年)や従軍先でのデッサンなど宮本のリアリストとしての力量が十分に発揮された作品をご紹介しますとともに、宮本が疎開先で終戦近い時期に描いたと思われる戯画《小供角力》も初公開いたします。

従軍体験と戦後の再出発

従軍画家として戦時期を生きた宮本にとって、1945年8月の敗戦は、自らの制作のありようの大きな転換を迫られたものだったに違いありません。画家としての再出発とも言うべき戦後の制作を、宮本は疎開先の故郷・石川県でスタートさせますが、その時期の作品は、戦中とは似ても似つかない静穏な色調で家族や風景を描いたものでした。そして、1948年5月、世田谷の自宅に戻り、裸婦や静物など従来の主題に取りかかってからは、そのスタイルをめまぐるしく展開させます。それは、自身の環境や日本社会、美術動向などの変化に宮本が真摯に対峙したがゆえに起きた、挑戦と苦悩を伴った展開であったと言えるでしょう。

本展では、宮本三郎が戦中から戦後への時代の大きな転換期を画家としてどのように生き、絵画で表現したのかを、その時代背景とともに探ります。



《流水手取川》1959年 カンヴァス、油彩



《不詳(裸婦)》1955年 カンヴァス、油彩

◎ギャラリートーク

展覧会担当学芸員が、展覧会の見どころについてお話します。

日時: 8月9日(土)、9月13日(土)、10月18日(土)、11月8日(土) 各日14時~14時30分

場所: 宮本三郎記念美術館・2階展示室

参加料: 入館料のみ

◎開館10周年記念イベント

開館10周年を記念して、10月11日(土)から13日(月・祝)の3日間を無料開館日といたします。期間中、ワークショップ、講演会、コンサートを開催予定です。詳細は決定次第ホームページ等でお知らせします。

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL 03-5483-3836

http://www.miyamotosaburo-annex.jp

交通案内 東急大井町線・東横線「自由が丘」駅より徒歩7分
東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分
東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分



©宮本和義



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

TEL 03-3415-6011 (代表)

展覧会のご案内: TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

http://www.setagayaartmuseum.or.jp/

※詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催企画展

●ボストン美術館 華麗なるジャポニズム展
—印象派を魅了した日本の美
2014年6月28日(土)~9月15日(月・祝)

●難波田史男の世界展
2014年12月6日(土)~2015年2月8日(日)

●松本瑠樹コレクション ユートピアを求めて
ポスターに見るロシア・アヴァンギャルドとソヴィエト・モダニズム
2014年9月30日(火)~11月24日(月・休)

同時開催ミュージアム コレクション
堀田コレクション 北大路魯山人展 2014年9月28日(日)~12月21日(日)



©宮本和義

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1

TEL 03-5450-9581 http://www.mukaijunkichi-annex.jp/

向井潤吉 — 異国の空の下で

2014年8月9日(土)~12月7日(日)



©宮本和義

世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17

TEL 03-3416-1202 http://www.kiyokawataiji-annex.jp/

清川泰次 — 色との対話

2014年8月9日(土)~12月7日(日)